

# 令和7年度 学校経営方針

北九州市立菊陵中学校  
校長 瀧本 主税

## ■学校経営理念

「寄り添う つながる」「こどもまんなか」

### 1 学校教育目標

自他を大切に、気付き、考え、行動することのできる、徳・知・体の調和のとれた生徒の育成  
【キーワード】思いやり、自己決定、挑戦

### 2 目指す学校像

- ・居場所を感じることできる安全・安心な学校
- ・保護者や地域に信頼され、応援される学校
- ・美しく整備された学校
- ・危機に対応できる学校
- ・挑戦と改善を継続する学校

⇒行きたい(生徒)、通わせたい(保護者)、働きたい(教職員)、覗いてみたい(地域)学校

### 3 目指す生徒像

- ・自己実現力(自己決定)のある生徒
- ・多様な集団の中で他者を思いやり、楽しく協働できる生徒
- ・感謝し、感謝される生徒
- ・心身ともに健康な生徒
- ・菊陵中プライドをもつ生徒

### 4 目指す教職員像

- ・教育のプロとしての意識をもち、生徒の未来を見据えて資質・能力の向上を目指す教職員
- ・やりがいと誇りをもつ教職員
- ・豊かな人権感覚と高い危機管理意識をもつ教職員
- ・温かさとしつこさをバランスよく備えた、生徒や保護者から信頼される教職員
- ・「チーム菊陵」の一員としての意識をもち、協働して困難を乗り越える互いに支え合う教職員

### 5 本年度の重点的目標

- (1) 心の育ちの推進
- (2) 確かな学力・体力の向上
- (3) 生徒一人一人に寄り添う教育の推進
- (4) 働きやすい職場環境づくり
- (5) 国際理解教育の推進

## 6 重点目標達成のための具体的な取組

### (1) 心の育ちの推進

#### ①「考え、議論する」道徳授業の充実（35時間、22項目）

- ・コミュニティボールを積極的に活用した授業実践
- ・学年内ローテーション授業及び異学年道徳授業の実施（校内OJT）
- ・学習記録（振り返りシート等）の蓄積を基にした評価の実施

#### ②積極的な生徒指導の推進

- ・組織的・機動的な生徒指導体制の確立  
→生徒指導委員会及び情報交換会（終礼時）の定例開催  
※SCの参加による組織体制の強化
- ・「報告・連絡・相談」＋「確認、記録」の徹底
- ・当たり前のことを当たり前に行えるように  
→チャイム席、掃除、整理整頓、挨拶、服装、言葉遣い

#### ≪菊陵中教職員の週間（習慣）目標≫

月：進んであいさつをしよう（関係づくりの第一歩）

火：生徒の声に耳を傾けよう（生徒理解）

水：時間を守ろう（チャイムスタート・フィニッシュ、定時退校日）

木：言葉を大切にしよう（信頼関係づくり、人権感覚）

金：整理整頓しよう（学級経営の基盤、業務改善）

※教師の姿を通じて生徒に伝える大切なこと（＝見えないカリキュラム）

#### ③SDGsに係る教育の推進

- ・総合的な学習の時間におけるSDGs推進校としての実践（各学年1～2単元）  
※校内研究（学チャレ（3年次））と連動した課題解決型学習の取組
- ・授業実践を基にしたSDGsの啓発（文化発表会におけるプレゼン発表等）
- ・全校的な取組（服のチカラプロジェクト及び国際理解教育講演会など）の実施

#### ④人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進

- ・「新版いのち」「子どもつながりプログラム」「明日への伝言板」を活用した授業実践等
- ・生徒が主体となる「平和に関する指導」の計画的な実施（3年→1, 2年）

### (2) 確かな学力・体力の向上

#### ①学力向上委員会（4部会）を中心とする組織的な取組

- ・授業力向上…授業規律等徹底、指導と評価の一体化、教科横断的な学習の実践
- ・学習習慣定着…自学（KSP）ノートの段階的活用、
- ・コグトレ…学力の土台づくり、各教科学習への導入
- ・異学年交流…教え合い学習「菊陵タイム」、体育大会、道徳・総合など

#### ②基礎学力定着のための取組

- ・朝自習の工夫

【月・火】ドリルアプリ等学年課題

【水・木】コグトレ

【金】補充学習

※その他、朝の読書（定期考査後）や定期考査前予想問題への取組

- ・家庭学習習慣の定着  
（KSPノートの活用、ドリルアプリの計画的な取組など）
- ・読書機会の創出（習慣化）  
（子ども読書の日の取組、朝読書、昼の読み聞かせ放送など）

### ③教科横断的な学習の実施

- ・「学びチャレンジリーディングスクール事業（3年次）」における取組を踏まえ、総合的な学習の時間を中心とする教科横断的な学習単元を仕組み、探究的な学習に取り組む。

### ④ICTを活用した授業実践

- ・ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実践

### ⑤運動を親しみ、楽しめる生徒の育成を目指した取組

- ・オリパラ教育との関連による校内スポーツ大会等の開催

### ⑥根拠資料を基にした信頼性・妥当性のある評価の実施

- ・学チャレにおける指導と評価の一体化の研究を進める

## （3）生徒一人一人に寄り添う教育の推進

### ①長欠・不登校等生徒に対する多様な学びの場の提供

- ・ステップアップルーム等、別室登校生徒への対応の充実  
→不登校支援コーディネーターの新設
- ・オンライン学習の活用（校内オンライン授業、未来へのとびらオンライン等）
- ・関係機関等との連携（放課後デイサービス、教育支援室など）

### ②特別な支援を要する生徒への個に応じた指導の充実

- ・特別支援コーディネーターを中心とする組織的な校内支援体制の確立  
→特別支援教育推進委員会の定例開催及びケース会議の適時開催
- ・特別支援学級生徒への効果的な交流学习の実施及び応援授業の充実
- ・個別の指導計画等の適切な作成と確実な引継ぎ

### ③いじめや不登校、その他生徒指導上の諸問題の早期発見・解決に向けた取組

- ・定期的なアンケート調査及び教育相談の実施
- ・不登校対策、SC活用コーディネーターを中心とした関係機関との連携

## （4）働きやすい職場環境づくり

### ①業務改善の更なる推進

- ・執務時間の創出  
→原則、毎週月曜日は5校時下校（「裁量」を職員の執務時間創出のために活用）
- ・会議の効率化・簡素化  
→各種委員会、実行委員会等の時間割への組込み、提案文書等の事前確認（ルーティン化）
- ・部活動の適正な実施  
→活動時間・休養日の徹底及び最終下校時刻の設定

【活動時間】平日：2時間程度、休日：3時間程度

【休養日】平日1日、休日1日、第3水曜日：全市一斉部活動休養日

9月以降第一土曜日とその次の日曜日を全市一斉部活動休養日に追加

【最終下校時刻】 18時30分

→部活動指導計画の徹底及び練習予定表への確実な記入

※前月20日までに管理職に提出のうえ、生徒・保護者へ配布

・「学年担任制」の実施

立ち上げ時は、5月中旬までは担任を固定、その後交代は2週間ごとに交代。担任紹介は、学年主任、他は担任として紹介。学級経営の諸事（係や常時活動のルール、学活や総合の内容の進め方、行事期間の担任固定など）を議論しマニュアル化を図る。

・学校事務職員の学校運営への参画促進

・教員業務支援員の積極的活用

#### (5) 国際理解教育の推進

・帰国・外国人児童生徒教育のセンター校として、受け入れの校内体制を構築する。

・帰国・外国人生徒の出身国に関する情報を掲示または発表し、生徒の国際理解を進める。

・国際理解教育講演会等に教職員が参加し、受け持ち生徒への接し方などへの理解を深める

#### ※菊陵中5つの「きく」

「聞く」…音や声を感じ取る（指示に反応する）ことができる【ステップ1】

「聴く」…身を入れて（耳と目と心を使って）きき取ることができる【ステップ2】

「訊く」…友達や先生に尋ねて答えを求めることができる【ステップ3】

「効く」…自分でもう一度考え、深めることができる【ステップ4】

「利く」…学んだことを役に立てることができる【ステップ5】